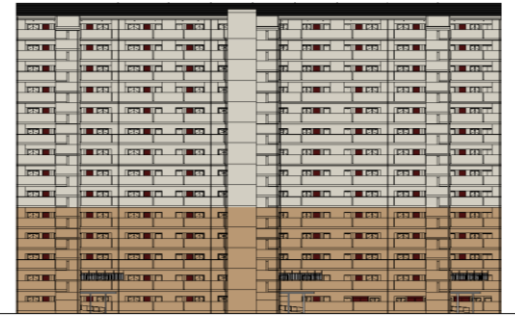


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮塚宮山台4丁第1期高層住宅	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市南区宮山台4丁3番の1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防風地域	平均居住人員	512人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年10月8日
敷地面積	5,630 m ²	作成者	株式会社 高橋建築設計事務所
建築面積	787 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	8,705 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.0
温熱環境	2.8
光・視環境	2.9
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.5
耐用性	3.2
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.6

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	4.0
地域環境	2.3
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・府宮住宅の建て替え計画であり、入居者の年齢や家族構成、要望等のアンケートをもとに住形式を配分し、安全で住みやすい共同住宅としている。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・屋根、外壁、最下床の断熱施工により内部の熱負荷を抑え、住戸間は遮音を考慮した構造としている。 ・接着材、塗装材等はシックハウスを考慮したものを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住戸内は手摺を設置し、フルフラット床としている。 ・1階には車いす常用者世帯向け住宅を設け、EVを福祉対応のものにすることで車いすの生活に対応できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺のまちなみや景観に配慮した形状・色彩の計画としている。 ・敷地の西側に多くの緑地を設けることにより、周辺の緑道と一体となる景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・断熱施工をし、室内エネルギーの省力化を張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住戸内間仕切りを廃材の分別が容易な木+PBのパネル工法にしている。 ・階高を同じにして、RC躯体型枠の転用率を高めている。 ・住戸タイプの上下左右同タイプ率を高め、建材の量産化、品質、工期短縮等の施工の省力化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を南北軸に配置し、近隣及び団地内の別棟に日影の影響を少なくしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府宮堺宮山台4丁第1期高層住宅	BEE	BEEランク
	建設地	堺市南区宮山台4丁3番の一部	0.9	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,705.08 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.1	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		2.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	